

公開資料

社会技術研究開発事業  
研究開発実施終了報告書

SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム  
(ソリューション創出フェーズ)

「地域の医療・保健・福祉・教育・市民等が連携して  
自殺ハイリスクの子どもを守る社会システムの  
ソリューション創出」

研究開発期間 令和4年10月～令和5年10月

研究代表者 立花 良之  
(国立成育医療研究センター 小児内科系専門  
診療部 こころの診療科 診療部長)

協働実施者 河西 千秋  
(札幌医科大学 医学部 主任教授)

## 目次

I. 本研究開発実施終了報告書サマリー .....	3
II. 本編.....	5
1. 研究開発プロジェクトの目標 .....	5
1-1. 研究開発プロジェクト全体の目標.....	5
1-2. プロジェクトの位置づけ.....	5
2. 研究開発の実施内容 .....	6
2-1. 実施項目およびその全体像.....	6
2-2. 実施内容.....	10
3. 研究開発成果 .....	13
3-1. 目標の達成状況.....	13
3-2. 研究開発成果.....	13
4. 研究開発の実施体制 .....	16
4-1. 研究開発実施体制.....	16
4-2. 研究開発実施者.....	18
4-3. 研究開発の協力者.....	19
5. 研究開発成果の発表・発信状況、アウトリーチ活動など .....	21
5-1. 研究開発成果の発表・発信状況、アウトリーチ活動など.....	21
5-2. 社会に向けた情報発信状況、アウトリーチ活動など.....	25
5-3. 論文発表.....	25
5-4. 口頭発表（国際学会発表及び主要な国内学会発表） .....	25
5-5. 新聞報道・投稿、受賞など.....	26
5-6. 特許出願.....	26
6. その他（任意） .....	26

## I. 本研究開発実施終了報告書サマリー

本研究開発では、以下の 1) から 3) を行った。

1) 市区町村の精神保健担当者が地域自殺対策計画に取り入れやすいような、子どもの自殺対策総合パッケージを作成し、実際に自治体でそのパッケージを運用した実証実験を行い、有効性を確認する。そして、期間中に他地域に配布できるようなパッケージを仕上げる。

2) 医療・保健・福祉・教育・NPO など多職種が連携して子どもや家族をサポートするような地域システムを可能にする多職種の「顔の見える連携」づくりのための地域ネットワーク会議体の実証実験を行い、有効性を実証する。

3) 人材育成として、研修会パッケージを作成し効果検証を行い、有効性を実証する。また、伝達研修の形での均てん化を行う。

上記 1) から 3) のために、下記を実施した。

大項目 A. 子どもの自殺防止のための地域自殺対策総合パッケージの実証実験

中項目 A-1. 子どもの自殺防止のための地域自殺対策計画策定

中項目 A-2. 豊島区での地域自殺対策計画運用

中項目 A-3. 東京都中部西南ブロックでの地域自殺対策計画運用

大項目 B. 子どもの自殺対策のための地域ネットワーク会議体の地域展開の実証実験

中項目 B-1. 東京都中部西南ブロック（世田谷区・目黒区・渋谷区）での実証実験

中項目 B-2. 長野県での実証実験

大項目 C. 人材育成の研修会（トレーナー養成研修、実践者養成研修）

大項目 D. 子どもの自殺防止のための地域自殺対策総合パッケージの他地域展開

学校を基軸として地域の医療・保健・福祉・教育・市民が連携して子どもやその家族をサポートする、包括的な子どもの自殺防止対策プログラム **Comprehensive Prevention for Adolescent Suicides at School (COMPASS)** を作成した。心理社会的困難を持つ子どもがいたときに、i) 心理的危機介入 ii) 教諭・養護教諭・スクールカウンセラー (SC)・スクールソーシャルワーカー (SSW) 及び、外部の医療機関などによる系統的な心理社会的評価とそれに心理社会的評価に基づく支援計画 iii) ケースマネジメント介入（心理教育・社会資源の導入・フォローアップ）を行う。上記のような内容を実施するために、関係職種に COMPASS の研修会を実施した。東京都渋谷区においては、渋谷区教育委員会と連携して COMPASS の研修会を教職員に対して実施した。また、養護教諭や SC・SSW などが系統的な心理社会的評価を行いやすくするためのソフトウェアを開発し、無償配布した。

子どもの自殺防止対策のための地域ネットワーク会議体のモデルづくりとして、東京都中部西南ブロック（世田谷区・目黒区・渋谷区）の医療・保健・福祉・教育の関

係者と月に一度関係者会議を Web 会議の形式で行った。これにより、関係者間の顔の見える連携が構築された。

成人の自殺対策である ACTION-J の人材育成研修プログラムをもとに、子どもの自殺防止対策の研修パッケージを作成した。2 時間半の内容で、最初の 1 時間は自殺防止対策の基礎知識についての講義、残りの時間は事例検討からなる内容である。この内容について、子どもに関わる職種に研修会を実施した。

また研修会参加者のフォローアップ研修として、子どもの自殺予防研究会を 2023 年 1 月に立ち上げ、2 ヶ月に一度研究会を開催している。

さらに、上記研修プログラムの基礎編の教材を、東京都中部西南ブロックの会議体の参加メンバーで、医療・保健・保健・福祉・教育のそれぞれの領域で作成し、ビデオ教材化した。

これらの成果について、関係団体と連携して、他地域で実施するなど、さらなる均てん化が今後の課題である。

## II. 本編

### 1. 研究開発プロジェクトの目標

#### 1-1. 研究開発プロジェクト全体の目標

- 1) 市区町村の精神保健担当者が地域自殺対策計画に取り入れやすいような、子どもの自殺対策総合パッケージを作成し、実際に自治体でそのパッケージを運用した実証実験を行い、有効性を確認する。そして、期間中に他地域に配布できるようなパッケージを仕上げる。
- 2) 医療・保健・福祉・教育・NPOなど多職種が連携して子どもや家族をサポートするような地域システムを可能にする多職種の「顔の見える連携」づくりのための地域ネットワーク会議体の実証実験を行い、有効性を実証する。
- 3) 人材育成として、研修会パッケージを作成し効果検証を行い、有効性を実証する。また、伝達研修の形での均てん化を行う。

#### 1-2. プロジェクトの位置づけ

自殺は子どもの死亡原因の一番の要因である。国民運動である健やか親子21（第2次）の指標で改善していない数少ないものの一つが子どもの自殺であり、このコロナ禍で年間約400人だった子どもの自殺者数が約500人に増えており、子どもの自殺防止対策は喫緊の課題である。自殺対策基本法の改正で、都道府県及び市町村は、自殺総合対策大綱や地域の実情などを勘案して地域自殺対策計画を策定することとなっているが、子どもの自殺防止のための総合的な地域対策計画を策定し行っている地域はきわめて乏しく、行われている場合も、一つの地域の中で教育やNPOなどで単発的に行われているのが現状である。

子どもの自殺の背景には、精神疾患、学校でのいじめや家庭での問題など環境要因があることが明らかになっている。自殺の背景には本人の精神的な問題、環境など様々な要因が複合的に関係していることが多く、それゆえ、自殺防止のためには、一つの機関・一つの職種だけでなく、関係する様々な職種が連携して支援を行うことが望ましい。しかし、教育、医療など行政の縦割り政策の中では子どもの自殺対策は検討されているものの、医療・保健・福祉・教育・NPOなど横のつながりとしての子どもの自殺対策施策は皆無である。

ボトルネックとそれを解決するために取り組むべきこととして、下記が考えられる。

ボトルネック	ボトルネックを解決するために取り組むべきこと
--------	------------------------

<p>殆どの市区町村の自殺対策策定担当者が、子どもの自殺対策として具体的に何をやればよいのか把握できておらず、地域自殺対策の中で子どもの自殺対策を盛り込めていない自治体が大多数である。（自治体担当者にわかりやすく具体的な子どもの自殺対策策定パッケージがない）</p>	<p><b># 1. 自治体担当者にわかりやすく具体的に地域自殺対策計画に活用しやすい、子どもの自殺対策計画策定パッケージの開発</b></p>
<p>子どもの自殺防止対策には、子どもの精神的評価・メンタルケア・家族ケアなどのスキルが必要とされるが、それについて自治体の精神保健担当所管がそれらのスキルに対応できていない。（子どもの自殺対策の人材の不足）</p>	<p><b># 2. 子どもの自殺防止に対応する人材育成。そのための研修会実施</b></p>
<p>自殺ハイリスクの子どもや家族に対し、多職種による支援が必要にもかかわらず、支援者どうしの連携が困難である。（多機関の「顔の見える連携」がない）</p>	<p><b># 3. 子どもの自殺を防止するための多職種による「顔の見える連携」の構築</b></p>

本プロジェクトはこれらのボトルネックを解決するために行う。

## 2. 研究開発の実施内容

### 2-1. 実施項目およびその全体像

大項目 A. 子どもの自殺防止のための地域自殺対策総合パッケージの実証実験

中項目 A-1. 子どもの自殺防止のための地域自殺対策計画策定

中項目 A-2. 豊島区での地域自殺対策計画運用

中項目 A-3. 東京都中部西南ブロックでの地域自殺対策計画運用

自治体関係者ととともに、子どもの自殺防止対策の地域自殺対策を策定し、その効果検証を行う。また、豊島区の「子ども未来会議」当事者・子どもにも参加してもらい、協働してメンタルヘルス対策を行うような取り組みの実践を豊島区で検討したい。

【対象】東京都豊島区、東京都中部西南ブロックの行政・医療・保健・福祉・NPO の関係者

【今年度の到達点】パッケージを作成、その後の実証実験につなげられるようにする。母子保健領域における親子のメンタルヘルサポーターの実態把握を行う。

## 大項目 B. 子どもの自殺対策のための地域ネットワーク会議体の地域展開の実証実験

中項目 B-1. 東京都中部西南ブロック（世田谷区・目黒区・渋谷区）での実証実験

中項目 B-2. 長野県での実証実験

地域の定期的な会議体をベースとした多職種による地域の「顔の見える連携」連携のネットワークづくりの実証実験を行う。

【対象】東京都中部西南ブロック（世田谷区・目黒区・渋谷区）、長野県の行政・医療・保健・福祉・NPO の関係者

【令和 5 年度の到達点】シナリオ創出フェーズで既にネットワーク会議や令和 4 年度に立ち上げた「子どもの自殺予防研究会」の会合を継続実施する。KPI である「相談しやすさ」や「特に相談したい相手との接点が増えた」が向上するような会議体運営を目指す。また、各会に把握された課題について PDCA サイクルを回していく。

## 大項目 C. 人材育成の研修会（トレーナー養成研修、実践者養成研修）

地域の指導者（中間管理職的、実務を担う立場）の人にスキルを身に付けてもらい、それを地域に持ち帰って同僚に伝達してもらうことで研修内容を広めていく。そのための効果検証を行う。また、研修プログラムを実施する上で、親子のメンタルヘルサポーターの実態把握のため、東京都中部西南ブロックの精神科や母子保健に携わる医療機関に診療状況についてのアンケート調査を行う。

【対象】教育関係者（スクールカウンセラー、養護教諭・担任・副校長等）、福祉関係者（児童相談所、子ども家庭支援センター職員）、医療関係者、NPO 関係者

【令和 5 年度の到達点】東京都中部西南ブロックの精神科や母子保健に携わる医療機関に診療状況についてのアンケート調査により、親子のメンタルヘルサポーターの実態を把握する。

トレーナー研修を開催していく。そのためのトレーナー養成プログラ

ムを作成する。

人材育成プログラムを、初級・中級（トレーナー レベル I）・上級（トレーナー レベル II）といった階層性にし、それぞれのレベルについて、地域で実践を行う関係者を養成する。


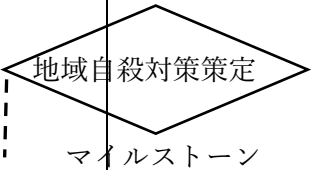






















関係者向けの研修会を3回、トレーナー研修を2回開催する。

東京都中部西南ブロックの精神科や母子保健に携わる医療機関に診療状況についてのアンケート調査により、親子のメンタルヘルサポートの実態を把握する。

東京都中部西南ブロックのスクールカウンセラーなど学校関係者、医療関係者、保健・福祉関係者、NPO 関係者むけに研修会を5回程度開催する。



研究期間中のスケジュール

研究開発項目	初年度 (2022年10月 ～2023年3月)	2年度 (2023年4月～2024年3月)	3年度 (2024年4月～2025年3月)	最終年度 (2025年4月 ～2025年9月)
<b>大項目 A</b> 地域自殺対策総合パッケージの実証実験 中項目 A-1 地域自殺対策策定 中項目 A-2 豊島区 中項目 A-3 北海道別海町				
				
				
				
		半年ごとに評価し PDCA サイクルを回す		
<b>大項目 B</b> ネットワーク会議 体の地域展開 中項目 B-1 東京都中部西南ブ ロック 中項目 B-2 長野県				
		半年ごとに評価し PDCA サイクルを回す		
				
				
				
				
				
				
				
		半年ごとに評価し PDCA サイクルを回す		
<b>大項目 D</b> 大項目 A の他地 域展開				

## 2-2. 実施内容

### 大項目 A. 子どもの自殺防止のための地域自殺対策総合パッケージの実証実験

#### 中項目 A-1. 子どもの自殺防止のための地域自殺対策計画策定

#### 中項目 A-2. 豊島区での地域自殺対策計画運用

#### 中項目 A-3. 北海道別海町での地域自殺対策計画運用

研究開発に取り組む主体：研究代表者（立花）と協働実施者（河西）、

コーディネーター：1) 池袋保健所 2) 別海町健康福祉課

マイルストーン：①子どもの自殺防止のための地域自殺対策計画策定(R2.3Q-4Q)

マイルストーン：②地域自殺対策計画運用(R3.1Q-R5.2Q)

創出される価値：自治体で地域自殺対策の中に取り込めるような、子どもの自殺防止のための地域自殺対策総合パッケージを提案し、2地域で実証実験を行って、有効なパッケージを導き出す。

具体的な到達点：他地域で子どもの自殺防止のための地域自殺対策として利用できるパッケージ完成

半年ごとに下記 KPI について対策計画の運用状況を評価し、PDCA サイクルを回していく。

KPI：未成年の自殺者数、自治体職員（管理職と一般職それぞれ）の自殺対策研修受講率

研究終了時の目標値：子ども関連の部署の70%以上の管理職及び一般職が受講

質的目標：70%以上のアンケート回答者が「参加してよかった」「子どもの自殺対策の理解が深まったと回答」

研究終了時までの住民の研修参加率・講演参加率

量的目標 住民の参加者数 1) 豊島区 200名以上 2) 40名以上

質的目標：70%以上のアンケート回答者が「参加してよかった」「子どもの自殺対策の理解が深まった」と評価

リスクヘッジである収拾策：立花、河西は豊島区のセーフコミュニティ自殺・うつ病の予防対策委員会委員をR4年度から担当しており、また、豊島区での子どもの自殺対策に効果的なゲートキーパー研修の実施や区の取り組みに関する効果検証を区と協働して行うこととなっている。実証実験実施でも問題が生じた場合は、池袋保健所健康推進課担当者と協議の上、現実的に実施可能な施策や評価への変更を検討する。北海道別海町で河西はこれまで同町の成人の自殺対策施策策定・評価に関与してきた。別海町での本研究実施に当たり、問題が生じたときは豊島区同様、

町の精神保健担当者と協議の上、現実的に実施可能な施策や評価への変更を検討していく。

## 大項目 B. 子どもの自殺対策のための地域ネットワーク会議体の地域展開の実証実験

### 中項目 B-1. 東京都中部西南ブロック（世田谷区・目黒区・渋谷区）での実証実験

#### 中項目 B-2. 長野県での実証実験

研究開発に取り組む主体：研究代表者（立花）と協働実施者（河西）、

コーディネーター：1）東京都中部総合精神保健福祉センター 熊谷直樹所長

2）CAP ながの 矢島宏美代表

マイルストーン：①子どもの自殺対策の人材育成のための研修開催

（R2. 3Q-4Q）

マイルストーン：②地域特性を反映させた関係者向けのマニュアル作成（R3. 1Q-R5. 2Q）

創出される価値：地域の医療・保健・福祉・教育が連携して自殺ハイリスクの子どもを守る社会システムのための、地域ネットワークのあり方を導き出す。

KPI：ネットワーク会議への参加者数、研修会の開催数、研修会の参加者数

リスクヘッジである収拾策：シナリオ創出フェーズの2年間（R2 年下半期～R4 年上半期）にかけて、既に会議体自体は実施してきている。そのネットワークをベースとしての地域展開にあたって人材育成の研修会やマニュアル開発で生じた問題については、会議体コアメンバーと密に連携を取り、地域関係者にとって現実的かつ意義のある研修やマニュアルにブラッシュアップしていく。

## 大項目 C. 人材育成の研修会（スクールカウンセラーなど学校関係者、医療者、保健・福祉関係者、NPO 関係者など）

人材育成研修、指導者研修の2種類の研修会を行っていく。

研究開発に取り組む主体：研究代表者（立花）と協働実施者（河西）、日本自殺予防学会自殺予防センター、J-CAPTA

コーディネーター：1）東京都教育委員会 柴田恵美子

2）J-CAPTA 木村里美、矢島宏美 3）日本自殺予防学会自殺予防センター

創出される価値：子どもの自殺対策を担う人材育成のための研修会、均てん化のための指導者研修システムを創出する。

具体的な到達点：人材育成のための研修パッケージ及び指導者研修パッケージの完成。プログラムは、誰もが同じ水準でスキルを身に付けられるようにマニ

マニュアル化する。

研修ごとに KPI を評価し、PDCA サイクルを回していく。

KPI：研修会参加者数、研修参加者の自殺ハイリスク者への対応の自己効力感・自信（質問紙で評価）、指導者研修参加者が自身で研修を開催してスキルを伝達した人の数

リスクヘッジである収拾策：シナリオ創出フェーズの2年間（R2 年下半期～R4 年上半期）にかけて、既に研修プログラムを作成し、研修会も実施している。研修会議体コアメンバーと密に連携を取り、地域関係者にとって現実的かつ意義のある研修やマニュアルにブラッシュアップしていく。

#### 大項目 D. 子どもの自殺防止のための地域自殺対策総合パッケージの他地域展開

大項目 A で作成した地域自殺対策総合パッケージを用いて、自治体の自殺対策計画策定者向けに、子どもの自殺対策計画策定研修会を開催する。

研究開発に取り組む主体：研究代表者（立花）と協働実施者（河西）、

コーディネーター：1）厚生労働省子どもの心の診療拠点病院事業 2）日本自殺予防学会自殺予防センター

創出される価値：全国の地域自殺対策策定のために、具体的かつ取り入れやすい、子どもの自殺対策のパッケージを自治体の保健施策策定者に提供する。

具体的な到達点：全国の自治体で子どもの自殺対策が地域自殺対策の中で当たり前に行われるようにする。プログラムは、マニュアル化する。

研修ごとに KPI を評価し、PDCA サイクルを回していく。

KPI：研修会参加自治体、研修参加自治体担当者の自殺ハイリスク者への対応の自己効力感・自信（質問紙で評価）、自治体での評価指標（上記1 実証実験の KPI と同内容）

リスクヘッジである収拾策：研修会実施、毎回アンケートを取り、また、パッケージ実施自治体から定期的に事後アンケート回答を収集し、PDCA を回し、問題点を適宜修正・改善していく。自治体の個別相談により、問題を早期に発見し、パッケージの改良を図る。また、厚生労働省自殺対策推進室や子ども家庭局母子保健課、全国精神保健センター長会などと連携し、均てん化についての改善を図っていく。

### 3. 研究開発成果

#### 3-1. 目標の達成状況

#### 3-2. 研究開発成果

##### (1) 内容

- ・成果の具体的内容

##### 1) 学校を基軸として地域の医療・保健・福祉・教育・市民が連携して子どもやその家族をサポートする、包括的な子どもの自殺防止対策：Comprehensive Prevention for Adolescent Suicides at School (COMPASS)

学校を基軸として地域の医療・保健・福祉・教育・市民が連携して子どもやその家族をサポートする、包括的な子どもの自殺防止対策プログラム (COMPASS) を作成した。このプログラムは、東京都中部西南ブロックの関係者会議であがった意見を取り入れつつ、救急医療機関における自殺再企図防止で有効性のエビデンスを確立している国の自殺対策のための戦略研究 ACTION-J をもとに作成した。ACTION-J は最も自殺のリスクが高いとされている自殺企図者に対して、システムとしてケアを行うプログラムである。救急医療機関に搬送された自殺企図者に対し、i) 心理的危機介入 ii) 精神医学的評価とそれに基づく治療計画立案 iii) ケースマネジメント介入（心理教育・社会資源の導入・フォローアップ）を行う。このような内容を、どの医療機関でも一定水準を担保して対応するシステムを構築して実施することで、自殺再企図が統計的に有意に減少することが明らかになっている (Kawanishi et al., 2014\*)。ACTION-J は成人領域の自殺予防プログラムであるが、このスキームは子どもの自殺予防対策で、学校現場でも応用可能と考えられる。COMPASS における ACTION-J を適用しているエッセンスとして、心理社会的困難を持つ子どもがいたときに、i) 心理的危機介入 ii) 教諭・養護教諭・スクールカウンセラー (SC) ・スクールソーシャルワーカー (SSW) 及び、外部の医療機関などによる系統的な心理社会的評価とそれに心理社会的評価に基づく支援計画 iii) ケースマネジメント介入（心理教育・社会資源の導入・フォローアップ）を行う。上記のような内容を実施するために、関係職種に COMPASS の研修会を実施した。東京都渋谷区においては、渋谷区教育委員会と連携して COMPASS の研修会を教職員に対して実施した。また、養護教諭や SC ・SSW などが系統的な心理社会的評価を行いやすくするためのソフトウェアを開発し、無償配布した。

KPI: 渋谷区の公立小学校・中学校の全校長（校長会での研修）、全教員（Teacher Learning Day でのオンライン研修）

##### 2) 地域ネットワーク会議体

子どもの自殺防止対策のための地域ネットワーク会議体のモデルづくりとして、東京都中部西南ブロック（世田谷区・目黒区・渋谷区）の医療・保健・福祉・教育の関係者と月に一度関係者会議を Web 会議の形式で行った。これにより、関係者間の顔の見

える連携が構築された。

- ・受益者（担い手から便益を受ける人）：地域の医療・保健・福祉・教育関係者、  
当事者（心理社会的困難を抱えた子どもとその家族）
- ・担い手（ユーザー、得られた成果を使う人）：地域の医療・保健・福祉・教育関係者
- ・新規性や有効性（得られた学術的知見や方法論が、関連する国内外の研究開発や類似の取組と比べて、どのような点で新規性や有効性があるのか等）：医療・保健・福祉・教育などの地域の関係者が子どもの自殺防止対策やメンタルヘルス対策のために定期的に集まるような会議体は我々の知る限りなく、地域の関係者の「顔の見える連携」づくりの場作りとなり、また、関係者間で意見交換できる新規性のある会議体モデルであると考える。
  - ・第三者が利用可能な状態であれば、成果物の入手・利用方法等：現時点（2023年11月）では未公開

### 3) 人材育成研修パッケージ

成人の自殺対策である ACTION-J の人材育成研修プログラムをもとに、子どもの自殺防止対策の研修パッケージを作成した。2時間半の内容で、最初の1時間は自殺防止対策の基礎知識についての講義、残りの時間は事例検討からなる内容である。この内容について、下記のような研修会を行った。

- 2022年11月13日：東京都内のスクールカウンセラー向け
- 2022年12月15日：目黒区児童福祉関係者向け
- 2023年4月22日：東京都内のスクールソーシャルワーカー向け
- 2023年7月18日：目黒区主任児童委員向け
- 2023年7月19日：目黒区児童館職員向け
- 2023年7月22日：北海道根室関内養護教諭向け
- 2023年8月26日：東京都内のスクールソーシャルワーカー向け
- 2023年9月1日：渋谷区公立小中学校校長向け（校長会で）
- 2023年9月6日：渋谷区公立小中学校教諭向け（Teacher Learning Day: オンライン研修）
- 2023年9月21日：北海道根室関内養護教諭向け

また研修会参加者のフォローアップ研修として、子どもの自殺予防研究会を2023年1月に立ち上げ、2ヶ月に一度研究会を開催している。さらに、上記研修プログラムの基礎編の教材を、東京都中部西南ブロックの会議体の参加メンバーで、医療・保健・保健・福祉・教育のそれぞれの領域で作成し、ビデオ教材化している。

### 4) 地域自殺対策総合パッケージの均てん化

- 1) の内容について、日本自殺総合対策学会の学術講演会で招待講演を行い、関係者

への周知・啓発を図った。

## (2)活用・展開

- ・継続的に使われていくための基盤等の整備状況（人材の確保、利用可能な施設・設備、ノウハウなどの情報の整理、活動資金の目処など）

東京都中部西南ブロックの子どもの自殺防止対策会議を運営している。

令和5年度に東京都自殺対策事業を受託し、子どもの自殺対策のための関係者の人材育成の基盤とした。

令和5年度に厚生労働省自殺対策事業を受託し、心理社会的困難を抱えた子どもの支援のための当事者・関係者の医療相談の基盤づくりにつなげた。

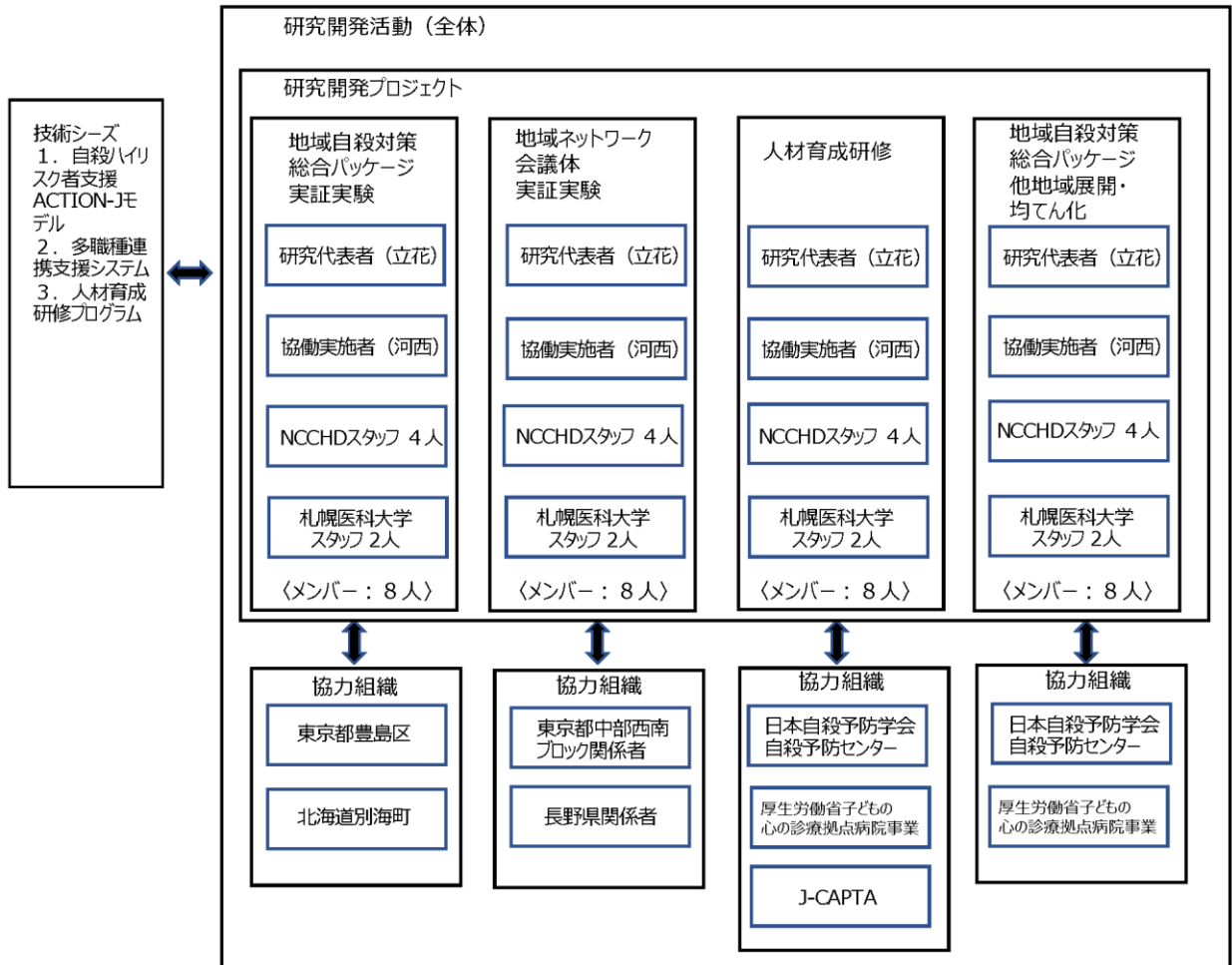
## (3)その他

本プロジェクト終了後も、本プロジェクトに携わった関係者・団体と協働し、東京都中部西南ブロックを含む首都圏、長野県など様々な地域で、子どもの自殺防止対策や包括的な心理社会的支援システムのための関係者ネットワーク構築を推し進め、また、人材育成も行っていく。

## 4. 研究開発の実施体制

### 4-1. 研究開発実施体制

#### ・ 4-1-1 実施体制図



#### 脚注

NCCHD: 国立成育医療研究センター

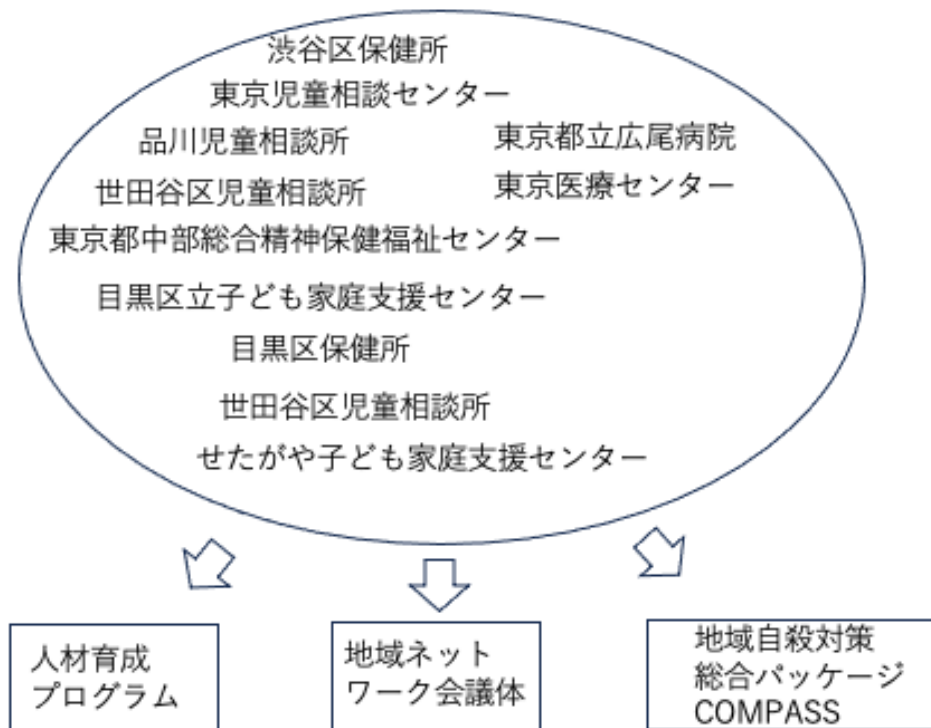
東京都中部西南ブロック: 世田谷区・渋谷区・目黒区からなる地域保健行政単位



・4-1-2 研究代表者と協働実施者の役割

研究代表者は共同実施者とともに、これまで地域ネットワークづくりや研修パッケージ作成を行ってきた。本プロジェクト期間中、研究代表者は地域の会議体実施の実働を担う。会議体実施のスーパーバイズを共同実施者が行う。また、協働実施者がこれまで成人の領域で行ってきた自殺対策人材の研修会実施の方法論を元に、研究代表者と協働実施者はシナリオ創出フェーズ（R2年～R4年）で子どもの自殺対策の研修会プログラムを作成した。その研修会を、研究代表者と協働実施者が共同で実施した。また、子どもの地域自殺対策のパッケージを、研究代表者が主体となって作成し、そのスーパーバイズを協働実施者が行った。いずれの実施においても研究代表者の実働を協働実施者がこれまで成人領域の自殺対策を行ってきた経験をもとに、スーパーバイズを行った。

・4-1-3 事業終了時点でのステークホルダーマップ



#### 4-2. 研究開発実施者

(1) 地域自殺対策総合パッケージ実証実験グループ（リーダー氏名：立花良之）

役割：

氏名	フリガナ	所属機関	所属部署	役職（身分）
立花良之	タチバナヨシユキ	国立成育医療研究センター	こころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科	診療部長
高井美和	タカイミワ	国立成育医療研究センター	こころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科	研究補助員
多門裕貴	タモンヒロキ	国立成育医療研究センター	こころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科	研究員
河西千秋	カワニシチアキ	札幌医科大学	医学部神経精神医学講座	主任教授
津山雄亮	ツヤマユウスケ	札幌医科大学	医学部神経精神医学講座	心理療法士

(2) 地域ネットワーク会議体実証実験グループ（リーダー氏名：立花良之）

役割：

氏名	フリガナ	所属機関	所属部署	役職（身分）
立花良之	タチバナヨシユキ	国立成育医療研究センター	こころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科	診療部長
高井美和	タカイミワ	国立成育医療研究センター	こころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科	研究補助員
多門裕貴	タモンヒロキ	国立成育医療研究センター	こころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科	研究員
河西千秋	カワニシチアキ	札幌医科大学	医学部神経精神医学講座	主任教授
津山雄亮	ツヤマユウスケ	札幌医科大学	医学部神経精神医学講座	心理療法士

(3) 人材育成研修グループ（リーダー氏名：河西千秋）

役割：

氏名	フリガナ	所属機関	所属部署	役職（身分）
立花良之	タチバナヨシユキ	国立成育医療研究センター	こころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科	診療部長

高井美和	タカイミワ	国立成育医療研究センター	こころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科	研究補助員
多門裕貴	タモンヒロキ	国立成育医療研究センター	こころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科	研究員
河西千秋	カワニシチアキ	札幌医科大学	医学部神経精神医学講座	主任教授
津山雄亮	ツヤマユウスケ	札幌医科大学	医学部神経精神医学講座	心理療法士

(4) 地域自殺対策総合パッケージ均てん化グループ（リーダー氏名：河西千秋）

役割：

氏名	フリガナ	所属機関	所属部署	役職（身分）
立花良之	タチバナヨシユキ	国立成育医療研究センター	こころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科	診療部長
高井美和	タカイミワ	国立成育医療研究センター	こころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科	研究補助員
多門裕貴	タモンヒロキ	国立成育医療研究センター	こころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科	研究員
河西千秋	カワニシチアキ	札幌医科大学	医学部神経精神医学講座	主任教授
津山雄亮	ツヤマユウスケ	札幌医科大学	医学部神経精神医学講座	心理療法士

4-3. 研究開発の協力者

氏名	フリガナ	所属	役職（身分）	協力内容
熊谷直樹	クマガイナオキ	東京都立中部総合精神保健福祉センター	所長	地域ネットワーク会議体実証実験・人材育成研修のスーパーバイズ
小松美和	コマツミワ	東京都立中部総合精神保健福祉センター	広報援助課課長	地域ネットワーク会議体実証実験・人材育成研修のスーパーバイズ

社会技術研究開発事業  
SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム（ソリューション創出フェーズ）  
「地域の医療・保健・福祉・教育・市民等が連携して自殺ハイリスクの子どもを守る  
社会システムのソリューション創出」  
研究開発プロジェクト 実施終了報告書

柴田恵津子	シバタエツコ	東京都西部学校経営支援センター	シニア・スクールソーシャルワーカー	地域ネットワーク会議 体実証実験のスーパーバイズ 人材育成研修会実施
-------	--------	-----------------	-------------------	--

機関名	部 署	協力内容
東京都児童相談センター		地域ネットワーク会議 体実証実験
世田谷区児童相談所		地域ネットワーク会議 体実証実験
目黒区保健所		地域ネットワーク会議 体実証実験
目黒区立子ども家庭支援センター		地域ネットワーク会議 体実証実験
せたがや子ども家庭支援センター		地域ネットワーク会議 体実証実験
世田谷区児童相談所		地域ネットワーク会議 体実証実験
東京児童相談センター		地域ネットワーク会議 体実証実験
品川児童相談所		地域ネットワーク会議 体実証実験
渋谷保健所		地域ネットワーク会議 体実証実験
東京医療センター	精神科	地域ネットワーク会議 体実証実験
東京都立広尾病院	精神科	地域ネットワーク会議 体実証実験

## 5. 研究開発成果の発表・発信状況、アウトリーチ活動など

1. 立花良之、「子どもの自殺防止対策について」、日本自殺総合対策学会2023周期講演会～地域の仕組みづくりと子どもの自殺対策～、2023年10月4日

### 5-1. 研究開発成果の発表・発信状況、アウトリーチ活動など

#### 5-1-1. プロジェクトで主催したイベント（シンポジウム・ワークショップなど）

年月日	名称	場所	概要・反響など	参加人数
2022/11/13	子どもの自殺予防対策研修会	ウィウメンズプラザ（青山）	東京都内のスクールカウンセラー向けの研修	35
2022/12/15	子どもの自殺予防対策研修会	目黒区役所	目黒区児童福祉関係者向けの研修	69
2023/4/22	子どもの自殺予防対策研修会	ウィウメンズプラザ（青山）	東京都内のスクールソーシャルワーカー向けの研修	25
2023/7/11	子どもの自殺予防対策研修会	目黒区公民館	目黒区NPO・児童館職員向けの研修	23
2023/7/18	子どもの自殺予防対策研修会	目黒区役所	目黒区主任児童委員向けの研修	32
2023/7/19	子どもの自殺予防対策研修会	目黒区公民館	目黒区NPO・児童館職員向けの研修	21
2023/7/22	子どもの自殺予防対策研修会	根室市教育庁舎	北海道根室関内養護教諭向けの研修	83
2023/9/1	子どもの自殺予防対策研修会	渋谷区庁舎	渋谷区公立小中学校校長・管理職向け	65
2023/9/6	子どもの自殺予防対策研修会	Web会議	渋谷区公立小中学校教諭向け	110
2023/9/22	子どもの自殺予防対策のためのスクリーニング研修会	Web会議	北海道根室関内養護教諭向けの研修	34

2023/10/8	子どもの自殺予防対策研修会	北沢タウンホール（下北沢）	東京都内のスクールソーシャルワーカー向けの研修	17
2022/10/7	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	15
2022/11/4	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	17
2022/12/2	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	18
2023/1/6	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	15
2023/2/3	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	18
2023/3/3	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	17
2023/4/7	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	16
2023/5/12	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	18

	議			
2023/6/2	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	19
2023/7/7	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	17
2023/8/4	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	15
2023/9/1	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	14
2023/10/6	東京都中部西南ブロック子どもの自殺防止のための関係者会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	16
2022/10/2 2	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	東京都中部西南ブロックの医療・保健・福祉・教育による子どもの自殺防止対策のための関係者会議	11
2022/11/8	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	長野県の子どもに関わる職種による、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	10
2022/12/5	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	長野県の子どもに関わる職種による、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	9
2023/1/16	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	長野県の子どもに関わる職種による、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	9
2023/2/6	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	長野県の子どもに関わる職種による	7

	中円卓会議		る、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	
2023/3/3	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	長野県の子どもに関わる職種による、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	7
2023/4/10	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	長野県の子どもに関わる職種による、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	7
2023/5/15	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	長野県の子どもに関わる職種による、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	8
2023/6/12	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	長野県の子どもに関わる職種による、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	9
2023/7/10	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	長野県の子どもに関わる職種による、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	7
2023/8/21	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	長野県の子どもに関わる職種による、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	7
2023/9/11	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	長野県の子どもに関わる職種による、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	8
2023/10/16	長野県子どもが真ん中円卓会議	Web 会議	長野県の子どもに関わる職種による、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	7
2023/1/25	第1回子どもの自殺予防研究会	ウィメンズプラザ+ Web 会議 (Hybrid)	子どもの自殺予防対策研修会のフォローアップ、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	32
2023/3/13	第2回子どもの自殺予防研究会	ウィメンズプラザ+ Web 会議 (Hybrid)	子どもの自殺予防対策研修会のフォローアップ、心理社会的な困難を抱えた子どもや家族の支援のための事例検討会	21



2023/5/10	第3回子どもの自殺 予防研究会	ウィメンズ プラザ+ Web 会議 (Hybrid)	子どもの自殺予防対策研修会のフォ ローアップ、心理社会的な困難を抱 えた子どもや家族の支援のための事 例検討会	24
2023/7/3	第4回子どもの自殺 予防研究会	ウィメンズ プラザ+ Web 会議 (Hybrid)	子どもの自殺予防対策研修会のフォ ローアップ、心理社会的な困難を抱 えた子どもや家族の支援のための事 例検討会	16
2023/9/7	第5回子どもの自殺 予防研究会	ウィメンズ プラザ+ Web 会議 (Hybrid)	子どもの自殺予防対策研修会のフォ ローアップ、心理社会的な困難を抱 えた子どもや家族の支援のための事 例検討会	18

## 5-2. 社会に向けた情報発信状況、アウトリーチ活動など

### 5-2-1. 書籍、フリーペーパー、DVD など論文以外に発行したもの

なし

### 5-2-2. ウェブメディアの開設・運営

なし

### 5-2-3. 学会以外のシンポジウムなどでの招へい講演 など

なし

## 5-3. 論文発表

### 5-3-1. 査読付き ( 0 件)

### 5-3-2. 査読なし ( 0 件)

## 5-4. 口頭発表 (国際学会発表及び主要な国内学会発表)

### 5-4-1. 招待講演 (国内会議 1 件、国際会議 0 件)

- 立花良之、「こどもの自殺防止対策について」、日本自殺総合対策学会 2023 秋期講演  
会～地域の仕組みづくりとこどもの自殺対策～、2023 年 10 月 4 日

### 5-4-2. 口頭発表 (国内会議 1 件、国際会議 0 件)

- 立花良之、子どもの自殺予防対策の課題について、第 118 回日本精神神経学会学術総会、  
横浜、2023 年 6 月 23 日

### 5-4-3. ポスター発表 (国内会議 0 件、国際会議 0 件)

なし

5-5. 新聞報道・投稿、受賞など

5-5-1. 新聞報道・投稿

なし

5-5-2. 受賞

なし

5-5-3. その他

なし

5-6. 特許出願

なし

5-6-1. 国内出願（0件）

5-6-2. 海外出願（0件）

6. その他（任意）

なし